

# いま、学校はどうなってるか

豊昭学園 1号館  
Photo ©Shigeo Ogawa



第98回アーバントリップ  
池袋地区に展開する新しい学校建築を見る  
2023年8月21日(月) 9:30-17:00



公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 アーバントリップ実行委員会

豊昭学園 6号館  
Photo ©Kenya Chiba



豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校 Photo ©(株)エスエス

- 見学建物
- 1. 豊昭学園1号館**  
東京交通短期大学 2018年竣工  
設計:北川原温建築都市研究所  
説明者:桑原遼介 構造規模:RC  
一部S造地下2階地上9階塔屋1階  
延床面積:2,817.49 m<sup>2</sup>
  - 2. 豊昭学園6号館**  
ラーニングセンター 2022年竣工  
設計:北川原温建築都市研究所  
説明者:西内元省 構造規模:RC  
造一部S造地上5階 延床面積:  
1,992.85 m<sup>2</sup>
  - 3. 豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校(併設型小中連携校)**  
2016年竣工  
設計:石本建築事務所  
説明者:南知之、長野豊、高柳唯一  
構造規模:RC 造一部S造地上4階 延床面積:17,271 m<sup>2</sup>
  - 4. 豊島区立池袋第一小学校**  
2022年竣工 設計:石本建築事務所  
説明者:全上 構造規模:RC 造一部SRC 造地上5階 延床面積:  
7,954.31 m<sup>2</sup>

## 第98回アーバントリップ 「いま、学校はどうなってるか」

～池袋地区に展開する新しい学校建築を見る～

この10数年、都内の多くの学校で改築・改修がさかに行われています。校舎の老朽化に加え、新たな教育カリキュラムへの対応など学習環境の変化、地域社会・まちづくりとの連携等に応えるべく、従来の学校建築とは異なる平面計画、空間性を持つ学校が数多く出現しています。

アクティブラーニングによる主体的な学びが重要になってくる中、学びの場はどうなっているのか、また地域と共有する空間・機能はどのようなものなのか。

今回のアーバントリップでは、現在池袋地区に展開されている新しい学校建築を見学することで、「いま、学校はどうなってるか」を、直接肌で感じる機会としたいと思っております。

約10分あまりの距離に点在する、二つの高校・短大を有する学校法人豊昭学園、豊島区初の併設小・中連携校・池袋本町小・池袋中、そして池袋第一小です。

またこれまで学校建築の計画に長年携わってこられた長澤悟先生をお招きし、学校建築について語っていただき、また参加者とともに学校建築を考える場としたいと思います。

## 特別講演:長澤 悟 (教育環境研究所 所長) 「(仮題)これからの学校のありかとは」

15:00～17:00(予定)

開催日時:2023年8月21日(月)

集合時刻:9:30 解散 17:30(予定)

集合場所:豊昭学園1号館

1階エントランスホール 9:30

(豊島区池袋本町)

参加費:2,000円 昼食は各自

募集定員:50名

CPD:6単位(予定)

問合先:(公社)日本建築家協会

関東甲信越支部事務局

渋谷区神宮前2-3-18 JIA館

担当:中山

TEL:03-3408-8291

申込:Google フォーム

<https://forms.gle/pyq2vWNNK3hLSSVq6>

QRコード

